

John Krung

ジョン・ケニー
2009-10年度国際ロータリー会長



No.35

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①和の心を大切に
- ②委員会事業の見直しと長期計画の検討
- ③時間を大切に

例会記録 (2010. 3. 26 (金)) 通算2,796回

◆開会

◆唱歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆ゲスト紹介

キッコーマン (株) 岩坂文代様

(株) カネカ 寺崎道雄様

電源開発 (株) 小林尚人様

◆プログラム予定

4月2日 (金)	4月10日 (土)	4月16日 (金)	4月23日 (金)
卓話 坂牛八州会員	移動例会・家族例会・ 花見茶会 (9日(金)例会分) 於 十輪寺 15:00~18:00	高砂青松R.Cとの 献血例会 於 サンモール高砂 南駐車場 10:00~15:30	卓話 友愛報告 中尾康三会員

◆出席報告

本日	3月26日	会員数47名	出席者40名	出席率90.5%
前々回	3月10日	会員数47名	欠席者0名	出席率100%

◆MAKE-UP

覚野 成広会員	地区大会	2月28日
守光 隆会員	地区大会	2月27日
信原 智彦会員	加古川R.C	3月11日
田中 泰生会員	e-CLUB	3月15日
伊地知正治会員	e-CLUB	3月12日
丸山 恵右会員	e-CLUB	3月11日
坂井 智代会員	地区大会	3月12日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

籠谷 啓一会員……カネカ寺崎様の入会を祝って。
加茂 良平会員……カネカ寺崎様をおむかえして。
安藤 公夫会員……本日卓話をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
信原 智彦会員……小林様、寺崎様をお招きして。
早退3名

◆幹事報告 (2,796回)

◎ガバナー事務所より「友」インターネット速報No.420が届いています。「ロータリーの友」では会員の皆様からのご投稿をお待ちしています。クラブや同地区の活動、ロータリアン同士の交流に関する原稿や写真、ロータリーに対するご意見などをロータリーの友事務所までお送り下さい。

◎米山梅吉記念館より館報2010年春号が届いています。

◎国際ロータリー第2680地区ガバナーエレクトより2010-11年度GSE(研究グループ交換)チームメンバー募集要項が届いています。

※例会変更のお知らせ

◎姫路R.C 4月 6日(火) → 7日(水) お花見例会
15:40～ 姫路科学館見学
18:00～ 於:龍野クラシックアネックス

◎姫路南R.C 4月 5日(月) 「社会奉仕フォーラム・ほろにが会」
16:00～ 於:姫路神社

◎姫路中央R.C 4月 8日(木) お花見夜間例会
18:30～20:30 於:和ダイニング三日潮

◎明石西R.C 4月 8日(木) お花見例会 18:00～
於:トゥール・ドール(ビーナスブリッジ)

4月22日(木) 職場例会 12:30～
於:明石市防災センター

4月29日、5月6日(木) 休会

- ◎加古川中央R.C 4月 8日(木) → 4日(日) お花見例会
12:00～ 於:ウエディングパレス鹿島殿
- ◎加古川平成R.C 4月 7日(水) → 4日(日) 親睦観桜例会
京都方面(西本願寺見学と都をどり観賞等)

◆会長の時間

私が提唱する鑑賞力強化法【1・2・3・4の法則】

茶道関係の若い人たちや先生方に「茶道具の見方」についての講演依頼を受けますが、その時よくお話するのが1・2・3・4の法則という項目です。

①一番大切なのは

本物を見る(できれば手にさわる・できれば使われている現場を見る)

②二番目は(2つの目がある)

- ・自分の目で見ると(最後はあなたがどう感じるか!を大切に)
- ・他人の目に耳を傾ける(自分は特別な色眼鏡で見ていると思うこと)
(絶えず色を取り除く努力をすること)

③三番目は判断の基準(3つ基準)

- ・真贋の判断
- ・力作凡作の判断
- ・好き嫌いの判断

④四番目は総合力をつける(四つの目を持つ)

- ・生地を見る(素材)
- ・外見を見る(形、姿、色合い)
- ・付加価値(履歴・包装・時代・作家)
- ・用途(使い勝手)

◆本日のプログラム

卓話 「食育について」

キッコーマン株式会社 岩坂文代様



「食育宣言」 kikkoman®

地球の食、日本の食、そして一人ひとりの食を、もっともっと大切にしていきたい。

私たちが、しょうゆをつくり始めたのは、遠く江戸時代。以来、日本のみならず世界中で、豊かな食を影してきました。食べることは、大地や自然の恵みに培われたかけがえのない生命の原点です。しかし、忙しさに追われる現代の生活の中で、食べることの大切さが見失われ始めています。だから今、私たちは、食べることへの興味や食べる楽しさを育むため、全社をあげて「食育」に取り組もうと思います。

それは、日本の食文化とともに歩んできたキッコーマンだからこそ提供できる食に関する情報・知識・体験をみなさまにお届けすること。そして、現代のライフスタイルにあった新しい日本型食生活を提案していくことです。楽しさとおいしさに満ちた豊かな食へ。これからも、おいしい記憶をいっしょにつくっていきたい。いま私たちキッコーマンは、食に携わる企業の責任として、「食育」を宣言します。

1. 食育に取り組む背景 kikkoman®

日本の社会構造の変化

- A 人口構造の変化
- B 世帯構造の変化
- C 少子高齢化と女性の社会進出

少子 → 単身世帯増加
高齡 → 単身世帯増加
女性の社会進出 → 単身世帯増加

「食育宣言」

地球の食、日本の食、そして一人ひとりの食を、もっともっと大切にしていきたい。

私たちが、しょうゆをつくり始めたのは、遠く江戸時代。以来、日本のみならず世界中で、豊かな食を彩ってきました。食することは、大地や自然の恵みに培われたかけがえない生命の原点です。しかし、忙しさに追われる現代の生活の中で、食べることの大切さが見失われ始めています。

だから今、私たちは、食べることへの興味や食べる楽しさを守るため、全社をあげて「食育」に取り組もうと思います。それは、日本の食文化とともに歩んできたキッコーマンだからこそ提供できる食に関する情報・知識・体験をみなさまにお届けすること。そして、現代のライフスタイルにあった新しい日本型食生活を提案していくことです。楽しさとおいしさに満ちた豊かな食へ。これからも、おいしい記憶をいっしょにつくっていききたい。いま私たちキッコーマンは、食に携わる企業の責任として、「食育」を宣言します。

1. 食育に取り組む背景

日本の社会構造の変化

- A 人口構造の変化
- B 世帯構造の変化
- C 少子高齢化と女性の社会進出

2. 食育体系ースローガン

おいしい記憶をつくりたい。

「おいしい記憶」は、食にまつわる体験を通じて積み重ねられます。楽しさやうれしさといった食卓での時間や雰囲気。ここからだますこやかにしていきます。

地球上のより多くの人がしあわせな記憶を積み重ね、ゆたかな人生をおくれるようお手伝いをしていきたい、という想いを込めています。

3. 活動紹介 ーしょうゆ工場体験見学

小学校向けに、しょうゆづくり体験コースを実施中

■内容 しょうゆづくり体験と工場内の見学 約120分
しょうゆづくり体験プログラム

- ・原料に触れる（大豆・小麦・食塩）
- ・麹を盛り込む（蒸した大豆、炒った小麦、こうじ菌）
- ・「もろみ」に触れる（熟成期間による色・香・粘度のちがひ）
- ・「もろみ」をしぼる（もろみを布に入れて、しぼる）
- ・しょうゆの味をみる（せんべいにしょうゆを塗る）

■対象 小学校 3～4年生が中心

3. 活動紹介 ー社員による出前授業

プログラム：社員が、自らの専門分野について講義するキッコーマン・アカデミー（2005年4月に開講）

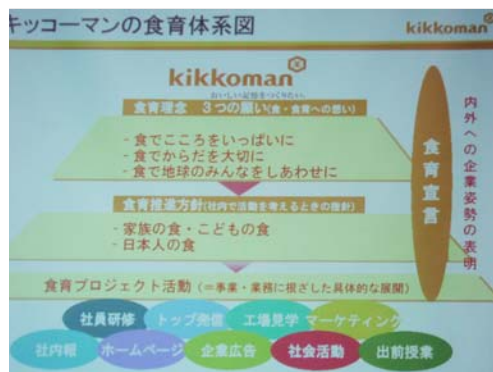
■対象 こどもから大人まで（講義によって異なります）

■テーマ 以下の5つのジャンルで、計20以上のプログラムを展開（ジャンル）

- A. 食と健康、食と生活について
- B. しょうゆについて
- C. トマトについて
- D. ワインについて
- E. その他食品について

食事バランスガイド

食生活改善のためのガイド



会長 大村 泰司 幹事 喜始すみ子
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 高木 史郎
例会会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/